

一九九三年以来の大冷夏で、経済界に泣き笑い。10年前は、外米や古々米で大騒ぎ。カリフォルニア米やタイ米等の調理法が大きく取り上げられたが、翌年にはすっかり忘れ去られた。今夏の農作物や食品の消費動向に変化。夏フルーツの定番スイカや桃がさっぱり。大型連休の頃に第2ピークのおでんが、実に良く売れた。長梅雨寒い夏から想像されるが、食物に季節感がなくなったのが真相だろう。

昨今の売行好調に値上強行の悪乗り発泡酒が大不振。倏しい団樂の楽しみを踏みにじり自業自得。メーカーの身勝手に家庭からそばをむかれ経営危しの悪酔い。

昨春は3週間早い季節の訪れ、今年は夏の実感がなく過ぎ去った。そんな中、デパートの衣料売場は、3週間早めの秋物に切替対応が奏効。やや消費を戻したというから素晴らしい。景気は天気という。10年に一度の冷夏に惑った気象庁の予報をあざ笑い鬱憤晴らしのテレビ局は、爪の垢を煎じているか。

9月11日、気象庁長官が夏の天候予報に関し前例のない謝罪表明。就任時のコメントで、観測の重視を唱えた数代前の菊池氏以来、潔い素晴らしき長官の登場。

現場予報官も胸が込み上げ、きっと熱き誓いがあったと想う。今後の3ヶ月予報や週間予報の更なる精度向上が楽しみ。

小泉改造内閣発足。政界・永田町すずめの予想を越えた人事が話題。何より凄いの、消費税アップを考えていないという確固たる信念と見識。インタビューのコメントは簡潔明瞭。

消費税で歳入不足を補う切札とする意見は、経済効果無き幻想。経済通の官僚・政策通等が唱導した5%へのアップが、世界最強の中小企業の競争力を弱体化した。

当時、ようやく仄かな灯りが見えだした経済を、奈落に沈め未だに不振艦大和。庶民感覚無き大企業出身の経済連トップ、実社会無知の風見鶏経済学者や一部のマスコミ受け評論家へ引導。外交好き、政策より政局好きだの推測は大外れ。

消え去るのみの実業界長老・評論家等より数段上の大見識に期待大。

日本の元気は、活力ある中小企業の元気。e-Japan 構想実りの秋。